

## 貿易再開と爲替相場の理論

長 尾 義 三

### 一 再開貿易の方法

待望の貿易再開がいよいよ来る八月十五日から實施される旨が總司令部渉外局から去る六月十日發表された。それによれば貿易品の價格の個々の決定は總司令部の商品擔當官が行ふが、各國の個々の貿易業者が日本の製造業者及び總司令部の價格決定機關と價格について話し會ふ事は差支へない。又價格決定は出来る丈早く日本側に移す筈であると云ふ。豫備的商談の爲の見本交換を含めた取引通信の計畫も進められて居る。取引は總て日本政府の許可を受け、日本貿易廳を通じて行ひ、占領軍當局の承認を要する。取引履行の全責任は日本政府が負ふ。總司令部は聯合國機關を通じて提出される紛争事件及び調整を受け付け日本政府をして適切な調整を行はしめる爲出来る丈の手段をとる。之等は民間貿易であるが、政府間の取引も之と平行的に続けられる。米國商會社は之等の政府間取引の米國內に於ける販賣を引受ける總司令部代理機關であり民間貿易には加はらない。生糸、綿織物及び本年度産の茶は先約がある關係上民間貿易には入れないから將來にまたねばならぬ。再開貿易の爲の各國民間代表四百名が近く來朝して我が生産者、貿易商等に接觸するが、九月一日迄は一切の商談を成立せしめな

い。次に價格は弗建とするが支拂は受け取り得る通貨なら何でも差支へない。外國爲替レートは當初は定めないが事態が許す様になれば直ぐレートを設定する。圓による生産費と受け取る外貨による販賣價格との關係を明かならしめるに足る丈の充分な取引が行はれた後は個々の取引に關し直接相場を定める事が可能となる。當分の間買付業者は其の希望する日本商品を選択すれば、日本貿易廳が製造業者に對し日本の諸種の事情を考慮して適正價格を圓價で支拂ふ一方、外國の買付業者は商品代價を適正な世界市場相場に基づいて弗價又は他の許された外貨で總司令部輸出基金に拂込む事になつて居る。總司令部では此の基金を日本製造業者に必要な原料資材の購入に當てる。總司令部の意向としては新しい貿易手續を國際貿易憲章の諸條項と合致させ日本が國際聯合の一員となる際の便に供すると云ふ。なほ總司令部では商品供給事情に關する情報として民間貿易品のリストと政府間貿易品のリストとを供給する筈であつて米國商務省國際貿易局から支給される。即ちA表には二十三種二百五十品目以上の商品が載せられ、主なるものは竹製品、陶器、ガラス製品、化學製品、建築用品、電機器具、臺所用品、藥品等で、一年中を通じ又は特定の期間にまとまつた數量を輸出できるものである。B表は生産に限りのある工業製品で十種類に分れ主なるものは貨車、鑿岩機、漁船、發電機、ガソリン機關、織機、紡錘、電信電話機具等で政府間取引の對象である、我國貿易廳は來朝する外國の貿易商社代表團の爲に臨時施設部を設けて情報提供や業者の周旋紹介の勞を取る。こゝで貿易業者生産者等のリストを備へ全國的にサンプルを集め、例へば輪島の漆器はどの位の生産能力を持つてどの程度の生産者が居りこの取扱機關は何處何處であると云ふ様に詳細の資料を提供する。代表團は生産者又は貿易業者何れと接觸してもいゝが之等の間に商談が成立すれば貿易廳を通じて總司令部へ輸出申請を行ひ、總司令部から海外價格の決定と同時に正式に輸出が許可される。この際貿易廳はその商品の生産狀況や需給狀態によつて輸出の調整をはかつて行く。貿易廳は國內業者から其の商品を公定價格

で買ひ上げ、總司令部の決定した價格で之を輸出する。各商工業都市では各々其市當局、商工會議所、業者團體等が中心となり、港灣や倉庫の設備改善、業者のリストの作成、貿易館の開設等に努力して居る。

人或は此度の貿易再開を目して自由貿易の再來であると見る。こゝに所謂自由主義者の根本的誤りのある事を知らねばならない。保護貿易に對する意味に於ける自由貿易と今回の再開貿易と異なる所以は、今迄の戦時中及び戦後の貿易形態が所謂保護貿易ではなくて全く異つたものであつた事を願れば明かである。今日國內の幼稚産業の育成の爲に保護關稅を設定すべきか、然らずして自由貿易に委して最適産業の最適地に於ける發達を國際經濟及び國民經濟の理想とすべきかと云ふ事は戦後の物資絶對量の不足と經濟の不均衡とに基く循環的生産縮小過程に悩んで居る我國に取つては當面の問題外に屬する。又この經濟危機に當面して國內經濟に於ける統制の再強化と食糧及び原料絶對量の輸入依存とに顧みる時、唯一の輸血路としての貿易が國內經濟以上に最も嚴重なる計畫及び統制下に置かるべきである事、及戦争の性質より見て武装解除保證の必要上貿易が軍事的意味合より見ても統制下に置かれることは明かである。財閥解體の方面より推して再開貿易の實務擔當者は先づ中小企業を對照に考へられねばならない。随つて此の場合の小規模經營の亂立無統制より起る不利と弊害とに顧みても適正なる統制の必要なる事は云ふ迄もない。貿易廳の一元的な統轄の下に若干の貿易公團が設けられて統制に當る。貿易廳は昭和二十年十二月七日閣議で決定し十日に官制公布され十五日に正式に發足した。貿易廳は輸出入の責任官廳であり一切の業務を遂行するめて總司令部に渡し、輸入物資は總司令部から受取る。貿易廳は輸出入の責任官廳であり一切の業務を遂行するが貿易廳を助ける機關として品目別の代行機關が生れた。昭和二十二年二月末日現在輸出では日本生糸輸出組合等三十五團體、輸入では日本綿花輸入協會等四十五團體合せて八十である。なほこれと並んで鑛工品貿易公團、纖維貿易公團食糧貿易公團原材料貿易公團の四公團が設けられる。かゝる統制方式に應じ取引實務に付ても種々

の新らしい問題が起る。例へば貿易金融の方面でも貿易や産業への融資順位の引上が行はれ、又貿易手形の制度にも變更があるかも知れない。貿易手形制度は日本銀行貿易金融措置要領に基いて二十一年九月一日から實施して居り輸出（生産、集荷）前貸資金、輸出物資買上資金の融通及び輸出入取扱機關に對する諸掛の支拂資金を必要とする場合、輸出入取扱機關は貿易手形を振出し、業者は之を市中で割引して前借金として利用して來た。所が各輸出入取扱機關を一元化して發足した貿易公團がこの貿易手形制度を利用し得るやに付て疑義が生じて居る。先づ公的性格を持つ貿易公團が約束手形振出しと云ふ債務保證行爲が出来るかと云ふ點、次に公團は運営資金を政府の貿易資金（十億圓、借入限度五十億圓）から借入が出来るが、貿易資金は輸出入物資の集荷配給に關して貸付を禁止して居るから、この資金の用途は輸入品の國內賣却代金の受入が時期的に遅れる様な場合の貿易物資の支拂代金にのみ充當し得る性質のもので従つて公團が貿易手形振出しによる前貸利用や債務保證行爲に立入る事が出来るかどうかと云ふ點等の疑義である。

## 二 爲替相場の定まり方―ブレトンウッズ協定の眞意義

さて最も問題となるのは爲替相場は幾何となるべきか、及び如何なる商品を輸出すべきかの二點である。處がこの二問題は性質上同時に考へねばならない關係にある事を見落してはならぬ。先づ爲替相場に付てはブレトンウッズ協定を見ねばならぬ。これは國際連合の機構であつて爲替の方面を擔當する國際通貨基金（International Monetary Fund）と國際長期金融方面を擔當する國際復興開發銀行（International Bank for Reconstruction and Development）との二つを内容とする。一九四四年七月一日米國の招請に應じて米・英・蘇・中・佛等四十四ヶ國代表は米國 New Hampshire 州 Bretton Woods に會合し、國際聯合貨幣金融會議（United Nations Monetary

and Financial Conference)を開き、二十二日の最終總會によつて前記の兩制度に關する協定條文が作成せられた。「基金」は米國の H. D. White を議長とする第一委員會、「銀行」は英國の J. M. Keynes (Lord) を議長とする第二委員會によつて立案せられたものであり、最終議定書にそれぞれ Annex A 及び B として示されて居る。前年ホワイト案及びケインズ案として發表された二案の折衷とも云ふべきものである。今この中前者に付て觀察しやう。

國際通貨基金の特徴は其の條文第一條の六項目に亘つて示されて居る様に、諸國間の競争的爲替引下や爲替制限を防止し、諸國をして「基金」の資金を利用せしめ同時に經常的取引の多邊的決濟により國際的不均衡を縮少し、以て各國の雇傭及び所得水準の高揚と資源開發に資する爲の恒久的國際金融協調施設たる事にある。

「基金」の制度の内容は一種の爲替平衡資金プール制とも云ふべきもので、參加各國は Schedule A に米弗で示された割當額の二十五%か、又は其の國の金及び米弗の official holdings の十%かを最低限度として金を以て「基金」に拂込み、殘額を自國通貨を以て拂込む。其總計はデンマークを除き八十八億米弗となる。參加各國は基金の最高機關たる Board of Governors を形造る Governor を出すが、事業執行の中心機關たる Executive Director の決定には前記の拂込割當の最大である米・英・蘇・中・佛の五大國は選舉によらずして各一名の Director を出す權利が與へられ、又各國の票決權數も同數の票決權の他に割當額に比例した追加票決權が與へられ、後者の方が其の影響が大である。なほ Director 任命に付ても票決權數に付ても、更に純收入分配に付ても、各國の拂込金が他國より買はれて減少する程度に應じて優遇される事になつて居る。「基金」の主たる事務所は割當額最大の國即ち米國におかれ、「基金」に屬する各國通貨は各國の中央銀行に於て保管せられ、金は五大國の指定する處に於て保管せられる。

さて基金の主たる業務は各國の中央銀行其他公的金融主體の要求に應じて、貿易其他短期の經常的性質ある外貨需要を目的とし先物取引又は資本移動を目的としない場合に、金又は其國の通貨を代金として「基金」の保有する他國通貨を賣つてやる事にある。即ち多邊的爲替取引の中軸機關たる事にある。併して國際間收支不均衡がある程度に及ぶ時、例へば或國が相當程度の輸入超過又は輸出超過に偏した場合等には「基金」に保有されて居る各國通貨の中出超過の通貨は稀少となり入超過の通貨は過多となる。これが甚だしくなればその回復が容易でなく、「基金」は（或は基金を通じて出超過は）入超過に對し久しきにわたり不確實なるクレジットを與える結果となるから、これを未然に防ぐ爲に次の處置がとられる。即ち或國の通貨を代金として他國通貨が其の國へ賣られる時、「基金」の其の國通貨保有額が其の國の拂込割當額の二倍を越えてはならないし、二倍に至らずとも一年間の増加が割當額の四分の一を越えてはならぬ。又他國通貨を買ふ國は金を以て四分の三の service charge を拂わねばならぬが、このチャージが「基金」の決定によつて増減されるし、「基金」保有の其國通貨が其國の拂込割當額を越える時は、其超過額の程度及び時間の長さに應じて累進する levy charge を金を以て拂はねばならぬ。更に又基金の會計年度末に其一年度における「基金」保有の其の國通貨の増加額の半額を其の國の貨幣準備を代金として其國が買戻さねばならぬ。又其國通貨を保有する他國がこの國に向つて其の買戻しを要求して來た時は、金又は其他の國の通貨を代金として買戻さねばならぬ。これ等は要するに其の入超過の爲替相場の悪化又は金の流出が入超過の繼續を喰止め様とするのと同じ効果を持つものである。なほ出超過の通貨稀少甚だしと認めた際には「基金」は其賣渡しを買入國の必要度等に應じて割當をする。之等により「基金」によつて外貨取引が行はれ且其多邊性により決濟が容易となり、更に一定限度の中に於て爲替相場の變更を見ずして支拂超過のまゝ他國通貨入手繼續の可能性が與えられる。

次に參加國は戰後の過度期とか「基金」の保有稀少通貨の要求に對する割當を行ふ場合等を除いては爲替制限をする事や差別的通貨處置をなす事を禁ぜられる。又各國間の爲替比率は各國通貨の金又は一九四四年七月一日現在の米弗に對する平價によつて結び付けられる。參加國相互間の取引及び「基金」との取引は通貨賣買も金賣買も此平價に準據し一定マーデンの範圍内の相場で行はねばならない。且其平價の變更は「基礎的不均衡」の是正の爲として承認された場合以外は許されない。其變更も「基金」創始の際決定せられたる平價の一割以内の間は反對を受けないがこれ以上に及ぶ時は「基金」は一定期限を付して其間に賛否を決する。

かゝる機構を以て出發した基金は一九四六年三月米國デョーディア洲サヴァナに創立會議を開き、ソ連其他數國を除き拂込割宛額の六五%以上の諸國の批准を得て成立し「基金」の主たる事務所をワシントンに置いた。同年九月にはワシントンに第一回年次大會を開き、定款業務規程等を定めた。各國の平價も大部分決定せられ十二月發表され、これによる英・米爲替は一ポンド四弗二仙である。本年五月「基金」は初めての外國賣付として佛國に米弗二千五百萬弗、オランダに弗ポンド半額づゝで合計千二百萬弗を賣つたのである。

### 三 平價の本質

以上の如き「基金」の組織は世間で云はれる様な金本位では決して無い。各國の平價其の他が金との比率に於て定められては居るが金本位の本質たる金又は金爲替との双方の一定比率自由交換による價值單位内容の自動的安定なる作用はないのである。條文第五條第八節で定める兩種のチャージの如きは決して金本位における現送點の如きものとは性質同一でなく又基金保有の一國通貨額の最高制限を拂込割當額との比によつて定める事も金流出による自動的爲替調節とは異なる。更に平價の一割以内の自由變更を認める事も價值單位を金に束縛する

ものと趣旨を異にし、更に第四條第七節に定める全參加國の同時的比例的平價變更の如きは全く爲替相場の國際相對的性質の表はれであつて金に對する絶對的價值關係の放棄を示すものである。筆者が此の「基金」創立會議の當時、基金の性質を爲替平衡資金プール制と解すべき事を指摘し、戦前の如き國際金本位は今後復活する望みも必要もない所以を強調した趣旨も亦こゝにある。<sup>(註)</sup>故に金本位理論に基く爲替インフレの恐怖を戦後の我國に結び付け様とする如きは全く無關係の者同志を結び付けんとする迂愚の一つ覺えに過ぎぬ。嘗て唱へられた爲替相場を早く決定せしめ様と云ふ如き議論が爲替の本質に全く無智なる誤説である事を知らねばならぬ。戦時の無爲替時代の後を受けて初めて新なる爲替相場が決められ様とする時、戦勝國側から勝手に法外な相場を押し付けられはしないか等と危惧する事が全く兒戲に等しい考へである事を先づ知るべきである。然らば今より定められ様とする我國爲替相場の歸趨は如何。之に答へ得るものは相對價格平價理論のみである。

(註) 拙稿「統制經濟の解消と模索過程の組織化」三〇頁(社會經濟研究 創刊號、昭和二十一年六月)

こゝに相對價格平價理論の内容を再び詳説する事は紙幅の許さぬ處であるから、其の骨格のみを素描するのみに止め其の詳細は舊稿にゆづり度い。爲替相場理論の發展は國際貸借説や金平價理論の幼稚形態から購買力平價説の一般理論形態へ進んだ事は既に古くから常識となつて居る處であるが、併し如何なる意味に於て購買力平價説が一般理論であり金平價説が特殊理論であるかは經濟學者にすら案外理解されて居ない様である。既に昭和十七年に發表した拙稿に、購買力平價説が平均理論であり、論理的にそれに前行すべき基礎理論たる相對價格平價理論のある事を論證しておいたのであるが、<sup>(註一)</sup>其の後購買力平價説の理論の堀下げは近時種々の面から行はれ、例へば一昨年のハンセンの著書に説かれた生産費構造平價理論の如きは其の一つであるが、<sup>(註二)</sup>この傾向の原動力となるものは原素的價格の一般的相關の構造であり、即ち相對價格平價説に歸着するものであつて、同時に貿易理



論殊に比較生産費説の發展形態と結び付く。所謂比較的優位の根源的形態は國內生産財間の相對價格の低廉にあり、之に基いて輸出入される財貨の一つ一つに付其の個別的購買力平價が存する筈であり、輸出入が行はれる結果國內物價の變化と、隨つて相對價格の國際的接近運動を生ずる一方、爲替相場自體の變化を呼び起して、之等總てが合致の方向へ進まうとする。此の合致の場合が即ち個々の財貨に付て存する購買力平價の相互一致、及び之と總ての物價の平均による購買力平價、即ち平均購買力平價との合致の場合であり、輸出又は輸入の超過消滅の時期であり、即ちそれ以上の爲替相場の變化を引起さない状態であるのみならず、而かも同時に輸出又は輸入の必要自體の消滅の時期であるのである。かくして平價概念の極限形態が相對價格平價である。同時に又政策の出發點もこゝにある。即ち貿易政策及び爲替政策の根本的範式は次の如くに與えられる。自國にとつて望ましき輸出品の相對價格は相手國に於けるそれよりも低く保たれなければならぬ。自國にとつて望ましき輸入品に付てはこの逆である。かくして國內相對價格に對する價格操作が爲替政策の基礎的形態である。尤も相手國の價格操作との關聯に於て把握されねばならぬ。均衡價格體系の確立は其の第一着手である。而かも貿易量と之に應ずる兩國の物價との間に存する弾力性の値が兩者の契子として把握されねばならぬ。貿易品の種類と爲替相場とは同時に決定さるべきものであるとの前述の命題は即ち之に基くものである。

(註一) 拙稿「平價の極限形態としての相對價格平價」高瀬莊太郎編「最近の金融經濟問題」所收、昭和十七年十二月

(註二) Hansen, A. I. America's Role in the World Economy, 1945, Appendix B.

#### 四 國內經濟均衡の再建策

翻つて貿易再開をひかへた我國現在の價格體系の様相は加何。闇とインフレは均衡價格體系の存立を根本的に

拒んで居る。この時にあつて基礎的不均衡なき爲替相場が例へば百圓であるべきか否かを論定せんとするのは本に據り魚を求めるに等しい。我國戦後の價格體系は昨二十一年二月の五百圓生活を出發點とした價格體系案に付て見れば、之に伴つて行はるべき筈の預金封鎖及び財産税財産増加税徴収が足並を揃えて行はれなかつた爲に脆くも崩壊し、其前年秋の生鮮食料品の統制配給解除に端を發した典型的インフレを喰止め得ず、闇物價の騰貴は間もなく猛然として其の勢を盛り返し、筆者の行つた生計調査によれば、部分的な一例であるが勤勞者の生活は概して闇六分公定四分の割合に進み、公定價格に對する信賴は全く地を拂つた。

(註) 長尾義三、木村重義共同執筆「小樽市に於ける勤勞者の家計狀況」(社會經濟研究 第二號、昭和二十一年九月)

而して此のインフレ防止策の失敗は蒙昧なる經濟論者と營業的ジャーナリストとの平價切下提唱又は杞憂を促進し、或は新圓再封鎖論となつて疑心暗鬼を生ぜしめ換物思想を鼓舞し貯蓄心を鈍らし益々インフレを激化せしめて居る。所謂經濟を解すると自ら信ずる非「學識經驗者」は平價切下の意味を知らずして一つの流行語として信奉し、選舉演説や刊行物を通じて吹聴し、例へば議會に於て某縣選出の代議士は當局に平價切下の意志無きや、平價切下以外にインフレ阻止對策ありや等と臆面もなく質問して物笑ひの種になつたが、之等經濟を論ずる資格無き者が厚顔にも自ら政界に乗り出して一國經濟を云々する事は誠に子供の火遊びとも云ふべく、又何々經濟研究所等と稱して株式投資案内を營業とする巷の「經濟學者」(石橋前藏相も曾て金解禁當時その一人であつた)達が今日になつても平價切下で證券はどうなる等と云ふ標語をパンフレット類販賣の一枚看板として居り、之等の政治家や業者が盲目千人の衆愚の迷信を益々鞏固ならしめて換物運動を煽り通貨安定貯蓄推進を妨害しインフレを不可避ならしめて居る。豈計らんや彼等自身の知らぬ間に平價切下は部分的には既に最近行はれた。即ち政府は去る七月十七日から金の買上價格を一瓦十七圓から七十五圓に引上げたのである。又かゝる形式をそな

へない實質的の幣價切下は戦争當初以來物價騰貴の一面として絶えず行はれて來た譯であつて、最近益々甚だしく時々刻々に切下げられて居るのである。巷間迷信せられて居る所謂平價切下は法令により百圓紙幣を五十圓の價値の物として通用せしめる様な方法を夢想して居るのであるが、かゝる方法がいかにしてインフレ對策の意味を持つかと反問すれば元より答へ得る筈もなく、只何となくかゝる方法が經濟社會の一齊整理の效果のあるものらしいと云ふ様な錯覺を抱いて居る所が即ち迷信の迷信たる所以であり、相當知名の人で無識の大衆からは經濟的知識人と思はれて居る人々が賣名の慾求に基いてかゝる迷信を流布する事が多いのは、大本教や爾宇教に於けるそれと選ぶ所はない。之が爲に最近の議會に於ても小坂大藏政務次官は百圓を十圓にすると云つた様な名目價値の切下は全く無意味であると聲明して居る。又切下と封鎖との混同も昨春の新圓切替の際にも多く見られた處であつて、近時も新圓課税又は新圓再封鎖と混同されて居るが、新圓再封鎖は技術的には不可能ではないけれども、換物運動を起して却つて其の目的に反する事は必定であるから、新圓登録は之と同時に物資登録及び財産一般綜合課税を強行せぬ限りは採り得ない所である。要するに今日金融面のみから價格操作を行はうとする事は、喀血を止めんが爲に肺の治療を行はずして口に蓋をするのと等しいあやまりを犯すものである事は昨春の預金封鎖の場合と同じである。この際價格體系の整備は財の統制再確立より他に道はないのである。價格體系再整備に於ける端緒を賃銀におくべきか米價におくべきかは問題のある處であるが、主食は諸價格變動の累積の原因として其の社會心理的作用が他種の諸價格又は賃銀に比し特に強力且敏感である事を此の際特に重視せねばならぬ。

食糧供出遲滞の理由として主張せられるものは、肥料農機具或は衣料等の配給不充分及闇價格の騰貴又は物々交換に備へる爲の主食横流しの必要と、供出割當方法の不當とである事は一昨年も昨年も本年も一向に變りはない。筆者は一昨年秋北海道廳の委囑により道内各支廳管下の農村を巡覽した際、主食と其生産用資材との間の闇流れの惡循環を打開する唯一の現實的な方法は、統制

の再確立強化と價格累進制度との併用以外にはない事を主張し其の輿論化を提唱したのであるが、本年に至り初めて其の方向への第一歩が政策に實現された事は不充分乍ら尙一つの好材料たる事を失はない。即ち平野農相の主張により本年度產麥馬鈴薯の供出百%を越えた農家が更に超過供出する場合は三、四倍の高價を支拂ひ、之により二十%、米換算百二十萬石の供出を確保し、其の報獎金約四十億圓の中、十億圓を追加豫算より捻出し三十億圓を消費者に負擔せしめ、更に本年度新米にも此の方式を適用する。又供出量決定に付ても、生産計畫は農家の自主的計畫に耕地面積、勞力其の他を勘案して定め、生産の割當を受けた農家は生産に責任を持つ事とし、肥料其の他の配給は作付實行面積に應じて變更する。割當供出量以上の超過分賣却は政府のみを相手方とせしめ、前述の如き報獎金、其の他報獎物資の特別取扱をする等の要綱を確立した。但し超過供出量と報獎價格との間の函數關係は今後の實證にまだねばならず、相當高度の累進が必要でないかと思はれる。又超過供出は次年度供出割當に不利をまねくと云ふ恐れを農家に與へて居るから、必ず割當制度の改正を伴はねば實行不能に陷る。供出完了後の自由販賣論等は闇か又は不公平の餘地を残すのみで一顧の價值もない負惜み論に過ぎぬ。又消費者側に付ても、消費者選擇主<sup>(註)</sup>食代替受配に、罐詰、酒、甘味料等が實施されて居るが、之もやはり筆者が數年前より提唱した受給權交換制の一種に他ならぬ。之等の交換代替は主食の種類別の間、又は主食以外との間の代替受配の際の割増價格差により前記の累進價格供出制による消費者負擔財源の一部を賄はしめ得るものである。凡て之等の累進及び選擇代替による有機的供出配給價格政策は劃一的無彈力的な官治統制方式の弊を補正するに生産者消費者の自主的價值判斷の介入を以てするものであり、之による流通が公的機關を経て合法且公開的に行はれる時は、自由經濟の長を取入れると共に其の短を防ぐものである。自由をして闇の自由たらしめず弱肉強食の經濟暴力の場たらしめず、價值判斷の自由による生産意慾の増進及び適應の能率化の理想を實現せしめんとする組織化された經濟體制に他ならないのである。而して此の體制をして其の使命を完遂せしめんが爲には生産供出及び配給の責任制度と其の秩序の維持と云ふ裏付が必要である。他面統制の衝に當り直接民衆に接觸する第一線公務員の獨占的地位に基く腐敗及び怠慢の餘地なからしむべき組織が必要であり、官公吏の待遇改善要求に理解ある民衆ではあつても交通、郵便、電話、配給等に於ける民衆に對する不誠意、或は又主食の持込配給とか衣料の店頭抽籤とか民衆の實情に無知にして且弊害百出の制度に改善を加へ様とする丈の誠意を持合して居ない怠慢等に對して抱いて居る怒りと不信賴とは統制に對する最大の障害をなして居る事を知るべきである。又職場放棄の理由が食糧増産の爲ならまだしも野球其他の行事の爲等と云ふ、敗戦後の實相に對する一種の無認識狀態にある時、行政監察委員制度の擴大完備が統制強化の時代に最も喫緊の時務である。以上一聯の國內經濟體制整備によつて初めて混亂せる經濟秩序を立直し均衡價格體系が成立し得るのである。合理

的なる貿易機構と基礎的均衡に立脚する爲替の平價は之に伴つてのみ成立するのである。

(註) 拙稿「計畫均衡の具體的過程」(北方經濟研究 第二號、昭和二十年三月)

## 五 今後の見透し

永井貿易廳長官に隨へば、二三年後の人口八千五百萬とすれば平均三千五百萬石の食糧輸入を要し、三億五千萬弗の支拂を見るべく、他面輸出には、生糸は最低十萬俵と見て一俵五千弗とすれば五億弗に上る。紡績は來年夏には三百五十萬鍾となるべく一俵二百弗の綿花を約百五十萬俵消費し國內向を除いて輸出すれば一俵約四百弗として三億弗となる。人絹は十五萬噸で約三億弗となり羊毛一億弗が見込まれると云ふ。この爲の輸出振興策としては近く發表されるべき貿易白書に示される通り加工貿易方式を徹底し貿易廳の指定工場を定め、物價廳には輸出品價格審査委員會を設け商品検査機關を完備し、輸出品工場の運轉資金は貿易スタンプ手形を用ひ設備資金は貿易廳の裏書により復興金融庫等から借入れしめる。而して爲替相場に付ては永井長官の見解は個々の商品に付て見れば綿糸に於ては最近一弗對四十六圓であり新價格體系では一弗對八十六圓となる。茶では一弗八十圓雜貨一弗百圓乃至百五十圓程度と思はれる。單一の爲替相場とすれば商品の種類によつては差を生ずるが、之は價格差補給金で埋められるであらうと云ふ。即ち單一爲替相場を今すぐ決定する事の無理な事が明かにされて居る。即ち拙速策よりも始めはグループ別相場をとり最後に單一相場をとるべきである。ダイヤモンド誌に於て考慮されて居る卸賣物價個々の商品價格金價格賃銀等より平均的に考へて爲替相場を百四十圓見當と推測する案は極めて暫定的便宜的な意味しか持ち得ぬ事が相對價格平價の理論から見て明かである。<sup>(註)</sup>種々の相場を單に計算的に加重平均するといふのではないのである。グループ別相場で一應實勢を見定めた後愈々單一レートをとるといふ場合望ましき商品の輸出又は輸入が困難な際は今述べた價格差補給金による事も考へられるが、この際合

せて考慮すべきは本年秋より實現する豫定の國際貿易憲章である。即ち國際聯合の機構の一つとして本年四月ジエネーヴに國際聯合貿易雇傭會議準備委員會が開かれ國際聯合貿易機構憲章試案が討議され、本年秋米洲で開催される雇傭會議で成立すると期待されるこの憲章の第四章D第二十五條の輸出補助金の廢止の精神に隨ふ時には價格差補給金制度にどれ程依頼し得るかが問題となる。其よりも望ましき輸出品の輸出振興策は其の相對價格の低廉を計る事が最も根本的であり、其の爲には其の原料資材其の他の供給の豊富を計るべく、内需其他のルートへの横流れを防ぐ爲の配給統制が確立されねばならぬ。

(註)「日米爲替相場場の推測」(ダイヤモンド 三十五卷十七號、昭和二十二年六月十一日)

然らば如何なる商品の輸出が望ましいか。戦前の輸出の大宗生糸は戦争により自ら進んで市場を放棄した形になつて居る。戦後再び輸出され始めたが戦前とは比較にならない程で殊に本年に入つて事實上停止の様な形である。即ち本年一月始めから四月中旬迄に輸出された生糸は全部で僅かに二千數百俵に過ぎず併も其の中アメリカに對する分は只の三十俵が積み出されたに止まる。米國商會社の五月九日付發表によれば同社が昨年七月日本生糸の賣り出しを初めて以來本年五月九日まで約十ヶ月間に賣却した數量は二萬八千四百俵金額二千七百七十萬一千三百八十五弗に過ぎない。斯の如く生糸賣行が不振となつた原因は第一にはナイロンの進出であつて、現在アメリカの靴下部門に入つて居る生糸は戦前量の五乃至七%であり、今後靴下部門での年間生糸消費量は同部門で使用される全纖維數量の一割乃至一割五分以下とならうと豫想されて居る。

斯の如くして生糸にのみ安住する事を許されざるに至つた我國輸出の將來は他の纖維に期待し得るかと云ふに、原綿を輸入し加工して綿糸又は綿布として輸出する事は、空氣の濕度及び混綿其の他の紡績技術の點に於て他國の追隨を許さぬ利點を持つた我國であつたが、最近に於てはこの紡績も他の原因により操短を餘儀なくされ

て居る状態である。即ち七月十日の紡績同業會委員會の決定によれば、次期原綿輸入の見透しがつかないので七月乃至九月の生産計畫を七月乃至十月に延ばし一萬五千俵の手持エヂプト綿の中六千俵をこの計畫に織り込み、この爲七月九月の操短率を一割擴大して四割六分とする。かゝる輸入不足の原因は輸出の不振にあり、其の不振の原因は更に輸送の滯滞その他に基く生産の不振にあると云ふ。斯の如くして力と頼む纖維方面に於てあまり多くの期待をかける事が許されない現状にあるとすれば、他の何處に活路を求むべきか。即ち多角經營的輸出あるのみである。我が國特有の自然や國民の才能が結局賣り物になるわけであつて、纖維のみならず加工食品、藥品、雜貨から美術工藝品に至るまで、凡て相對價格低廉なるべき生産要因の結合によるものに力を注ぐべく、將來は海運、遠洋漁業、保險等海國としての特長に期待がかけられる。又觀光資源も世界に比類なき美しい國土の富であるのみならず、廣く人類一般に恩澤を分つべき寶である。

## 六 再開貿易の指針

以上、再開貿易の指針と考へられるものを論じてきたが、此を列舉すれば次の如くであらう。

- 一、國內價格秩序の再建が前提である事。
- 二、管理貿易、加工貿易、多角經營的貿易が中心となる事。
- 三、望ましき輸出品に對しては原料資材等の配給を確保して相對價格の低廉を計る事。
- 四、相手國の相對價格を研究する事。
- 五、基礎的均衡に合致した爲替相場以外は凡て過渡的の換算率の意味しか持たない事、即ち早急な單一爲替相場決定論の缺點。